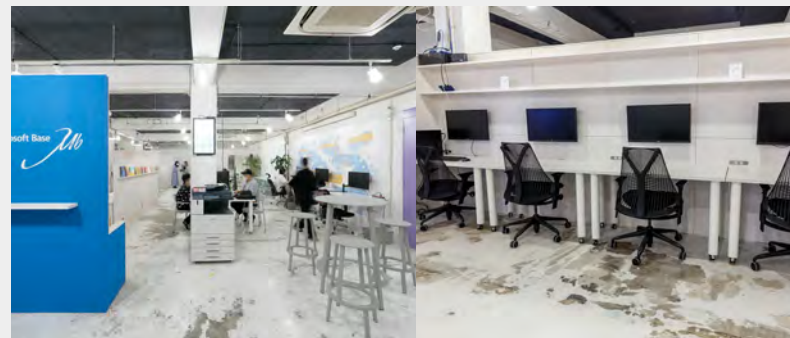




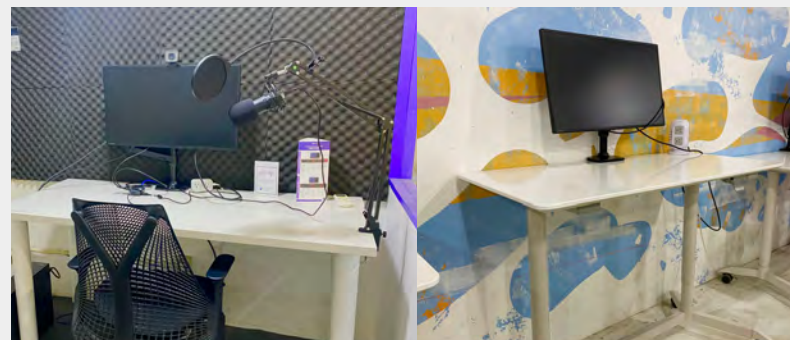
入居企業数

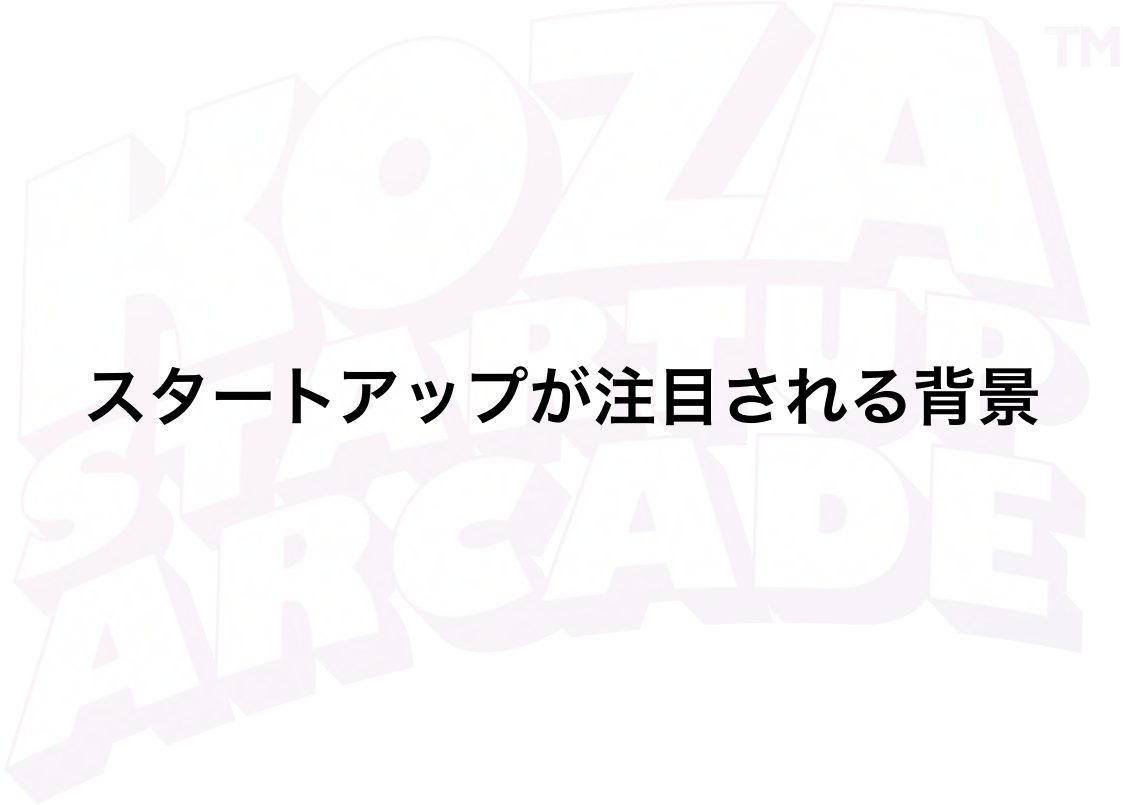
約 50 社

(スタートアップ、事業会社、個人事業主)



1席から借りられるシェアオフィス





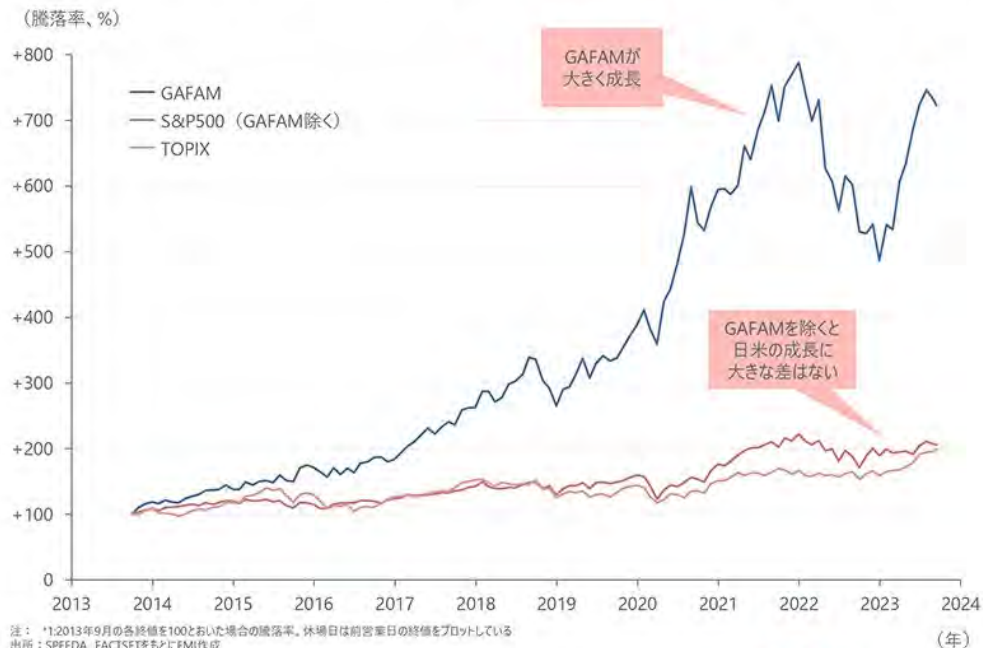
スタートアップが注目される背景

- 日本の国際競争力は、過去30年間で著しく低下。
- 株式市場は成長せず、かつて32社の日本企業がランクインしていた世界時価総額ランキングTOP50に入る企業は現在1社（トヨタ）のみ。
- 実質賃金は増えておらず、OECD平均、韓国、イスラエルを下回る。



米国経済の成長をけん引するのはスタートアップ

日本（TOPIX）と米国（S&P）における直近10年間の株式市場のパフォーマンスの推移^{*1}



© 2023 Frontier Management Inc.

FRONTIER MANAGEMENT INC.

出所：ダイヤモンドオンライン「『GAFAM』除けば日米の株価成長は同じ？企業再編から考える米国経済の強さ」

[「GAFAM」除けば日米の株価成長は同じ？企業再編から考える米国経済の強さ | 政策・マーケットラボ | ダイヤモンド・オンライン](#)

- スタートアップは、**経済成長**のドライバー。将来の所得や財政を支える新たな担い手。
- スタートアップは、**雇用創出**にも大きな役割。
- スタートアップは、**新たな社会課題を解決**する主体としても重要。

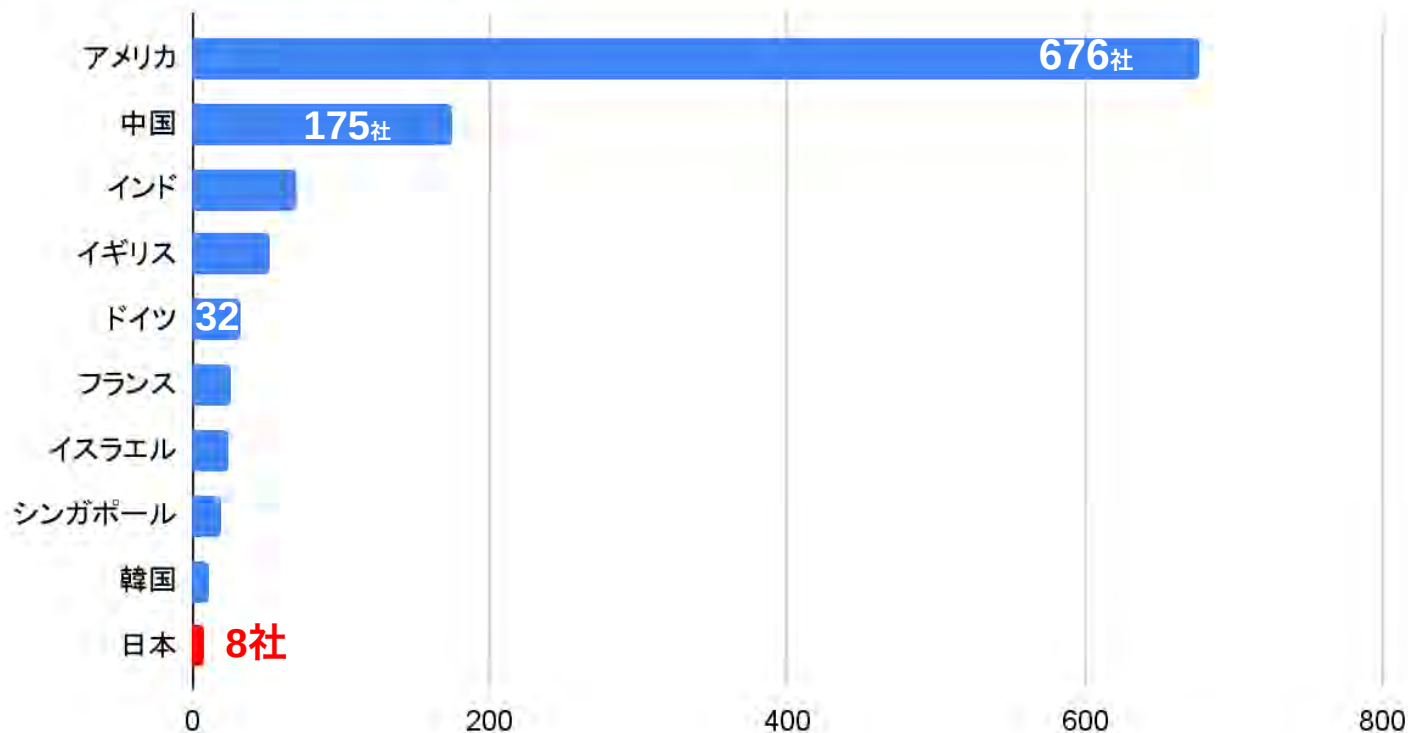
日本におけるスタートアップ投資も10年で10倍に拡大しているが・・・

国内スタートアップ資金調達額・調達社数



「ユニコーン」と呼ばれる時価総額1,000億円を越えるスタートアップはアメリカの1/100

世界のユニコーン企業数



2022年岸田政権発足時2027年には投資額を10倍を宣言

「スタートアップの力で社会課題解決と経済成長を加速する」



スタートアップへの
投資額を
5年で10倍に



人材・ネットワークの構築

スタートアップで最も大切なのは人。
スタートアップの担い手を育成し、起業を加速。



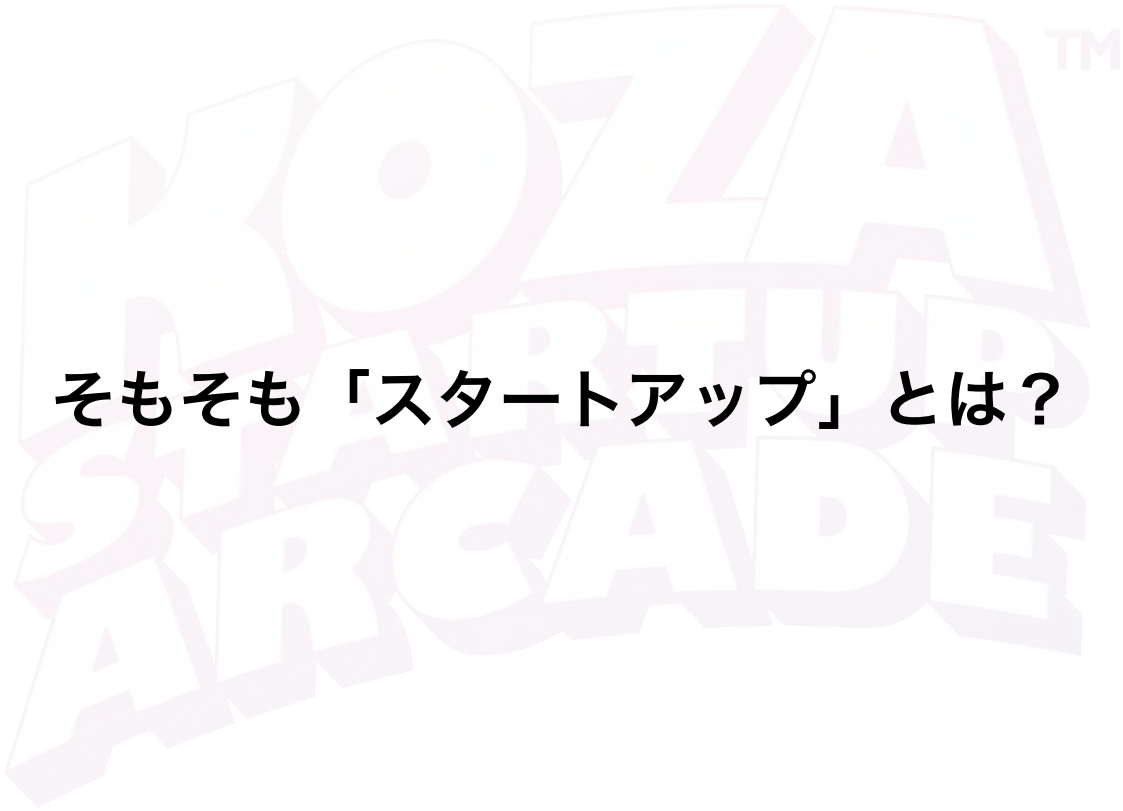
資金供給の強化 と 出口戦略の多様化

スタートアップが大きく成長するのに必要な資金。
ベンチャーキャピタルや個人からの投資を拡大。



オープンイノベーションの推進

エグジットとしてM&Aを増やすなど
大企業とスタートアップとの
オープンイノベーションを推進。

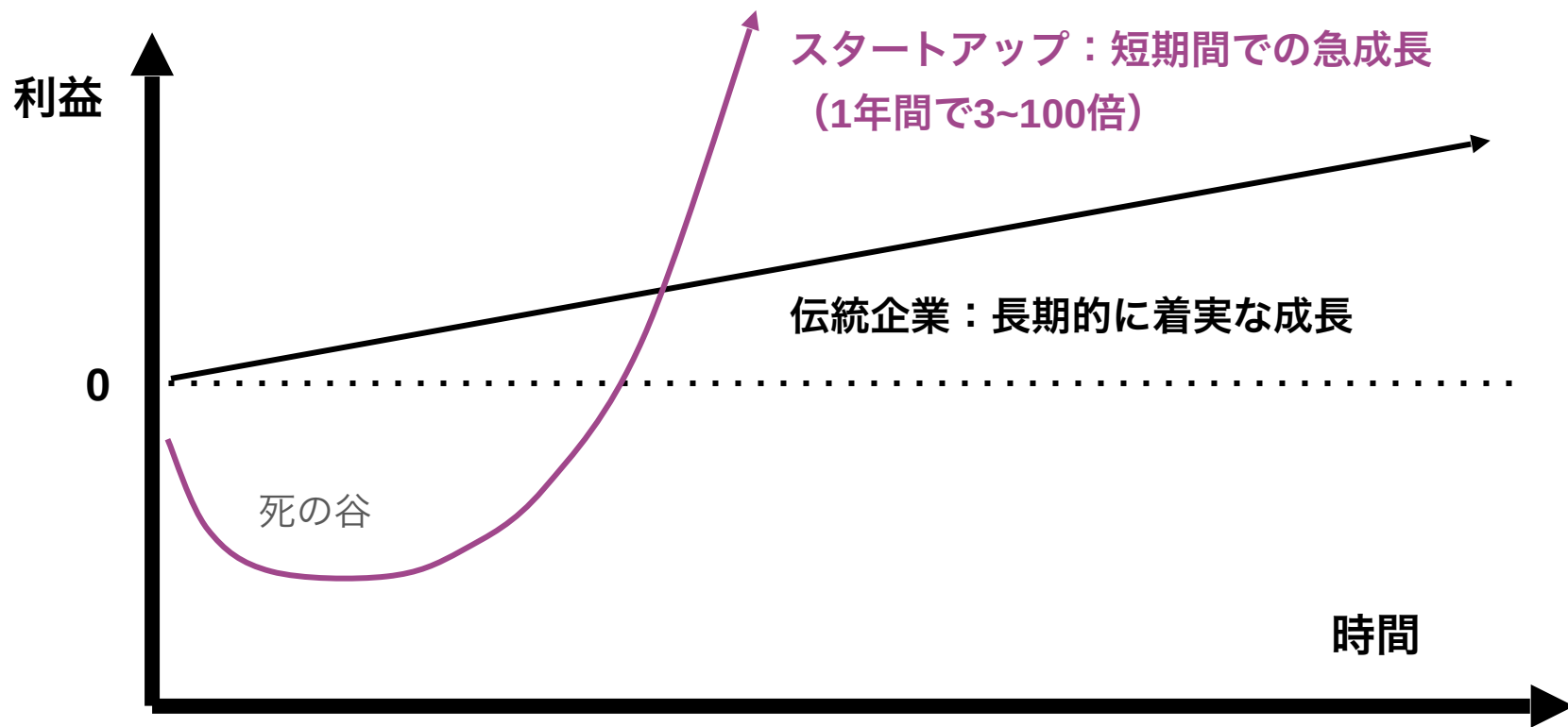


そもそも「スタートアップ」とは？

新しい企業であって、
新しい技術やビジネスモデル（イノベーション）を有し、
急成長を目指す企業

	伝統企業	スタートアップ
ビジネスモデル	企業ごとに変化を加えつつも、既存のビジネスモデルを元とする。	革新的なアイデアや技術から新たなビジネスモデルを創出する。
主な資金調達方法	助成金や補助金、銀行からの融資	ベンチャーキャピタル(VC)等の投資家からの増資（株式を投資家に放出）
エグジットの必要性	売却や上場等のエグジットは必須ではない	投資家へ利益を還元するため、売却や上場を目指すことが必須
収益性	利益を上げながら、着実な成長を目指す。	サービス拡大（成長）を最優先し、赤字のまま成長を目指すことが多い。
社員への報酬	安定的に出せる給料	ストックオプションやキャピタルゲイン

最も大きな違いは成長曲線



スタートアップ

=

急成長の設計をした企業

ムーンショットを目指した企業

売上数千万～数億の
地域課題解決ベンチャーを
スタートアップと呼ぶのはどうなのか
明らかにスタートアップの概念が
湾曲解釈されている

地域課題解決型スタートアップ

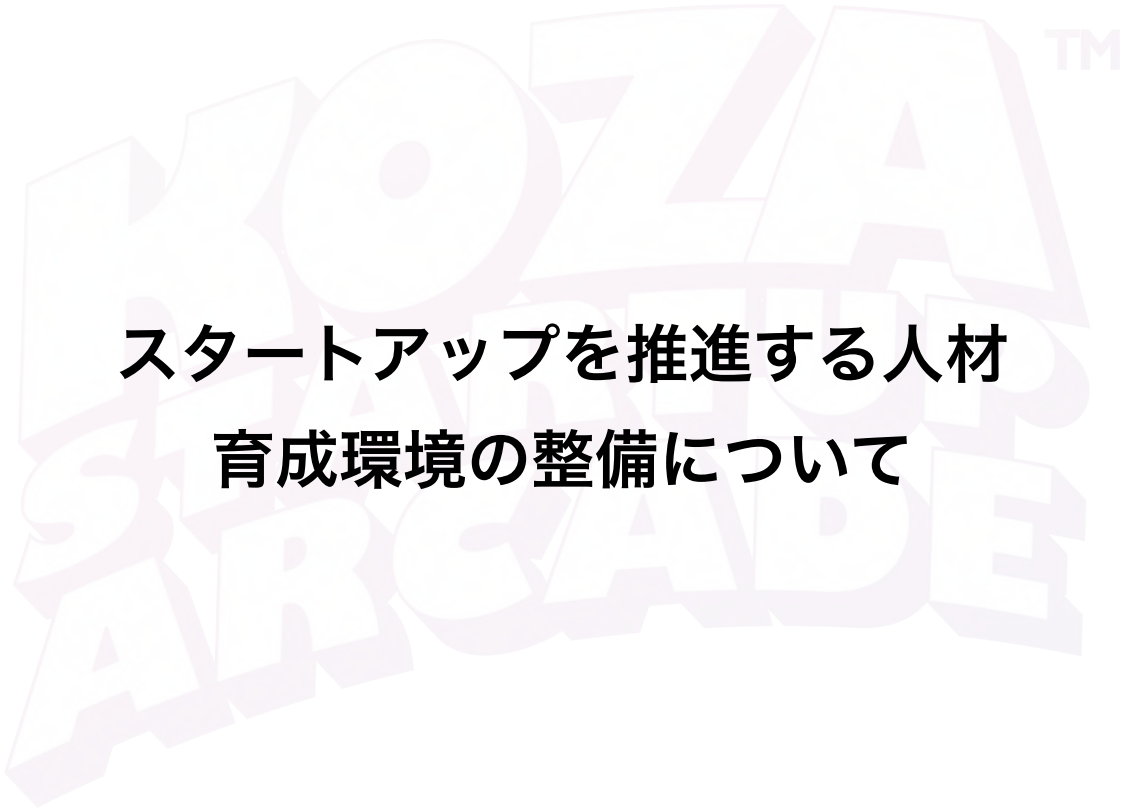
地場経済成長に有効 持続可能な社会に必要

越境スタートアップ

海外進出がベース 産業振興の為必要

ムーンショットスタートアップ

結果論生み出せたらラッキーだが環境整備だけでは生まれない
(OISTやKOZAやエネルギーやDeeptechに勝機あり)



スタートアップを推進する人材 育成環境の整備について

ベンチャーキャピタルによる判断軸① 投資家が、スタートアップを評価する軸は以下のとおりです。

要素	判断軸	内容
経営者(陣)の人となり	誠実さ	嘘をつく人は論外。詐欺師と変わらなくなる。
	地頭の良さ	勉強脳は不要。理解が早く臨機応変が大事。
	実行力	どんな障害に直面してもやり遂げる力。
	情熱	世界を変えたいという熱い思い。
	素直さ	人の意見をちゃんと聞く、やってみる。
	巻き込み力	魅力的な人、助けたい人、一緒にやりたい人。
経営者（陣）の経験・能力	経歴や実績	これまで実際に成し遂げたこととその外部評価。
	市場の知見	ターゲットとなる市場に関する知識や経験。
	技術的能力	プロダクトに関する技術の知識や能力。
	事業開発能力	商売を行う上で必要なスキル。

ベンチャーキャピタルによる判断軸②

投資家が、スタートアップを評価する軸は以下のとおりです。

要素	判断軸	内容
プロダクト	PMF	お金を払ってでも使いたいと思われているか。
	イノベーション	既存の解決策から飛躍的に良くなった特別な要素。
	競争優位性	他の解決策と比較して優れている部分。
市場	市場の大きさ	自社プロダクトが関係する領域の市場規模。
	対象範囲	自社プロダクトが得ることのできる最大の売上。
	市場の成長性	その市場がどれくらいのスピードで成長しているか。
	参入障壁	その市場に自社は参入できるか、他社はできるか。

投資家による判断軸③

投資家が、スタートアップを評価する軸は以下のとおりです。

要素	判断軸	内容
経済性	ビジネスモデル	誰から何の対価として、何時いくらもうのか。
	ユニットエコノミクス	顧客単位の収支（経済性）がプラスになっているか。
	拡張性	上記の経済性を保ったまま急拡大できるのか。
	期待リターン	投資家としてリターンが望める投資なのか。
投資家	投資戦略	ファンドの投資戦略と合致しているか。
	ポートフォリオ	ファンドの状態に照らし合わせて適当な投資か。
	付加価値が提供できる	投資家として付加価値を提供できる先か。



HelloWorld株式会社

日本にしながら気軽に英語留学できる「まちなか留学」、世界の学校をつなぐ英語学習・国際交流プラットフォーム「WorldClassroom」を開発・運営

#インパクトスタートアップ #教育 #EdTech

HelloWorld、日本を代表する
沖縄の有望スタートアップ5社として
「J-Startup OKINAWA」企業に選定



**J-Startup
OKINAWA**



TAMのサイズ

イシューと市場は適切か

多言語人材 越境戦略

Jカーブのためのロードマップの書き方

事前に握る or キーパーソンを捉える為に

チーム組成手法の教育

人材配置 風林火山

弱みではなく強み基軸の“戦略”設計教育

地場支援者による強力な資本注入

ワークショップによる実践演習

資金ショート手前の振る舞いシミュレーション

参考資料1

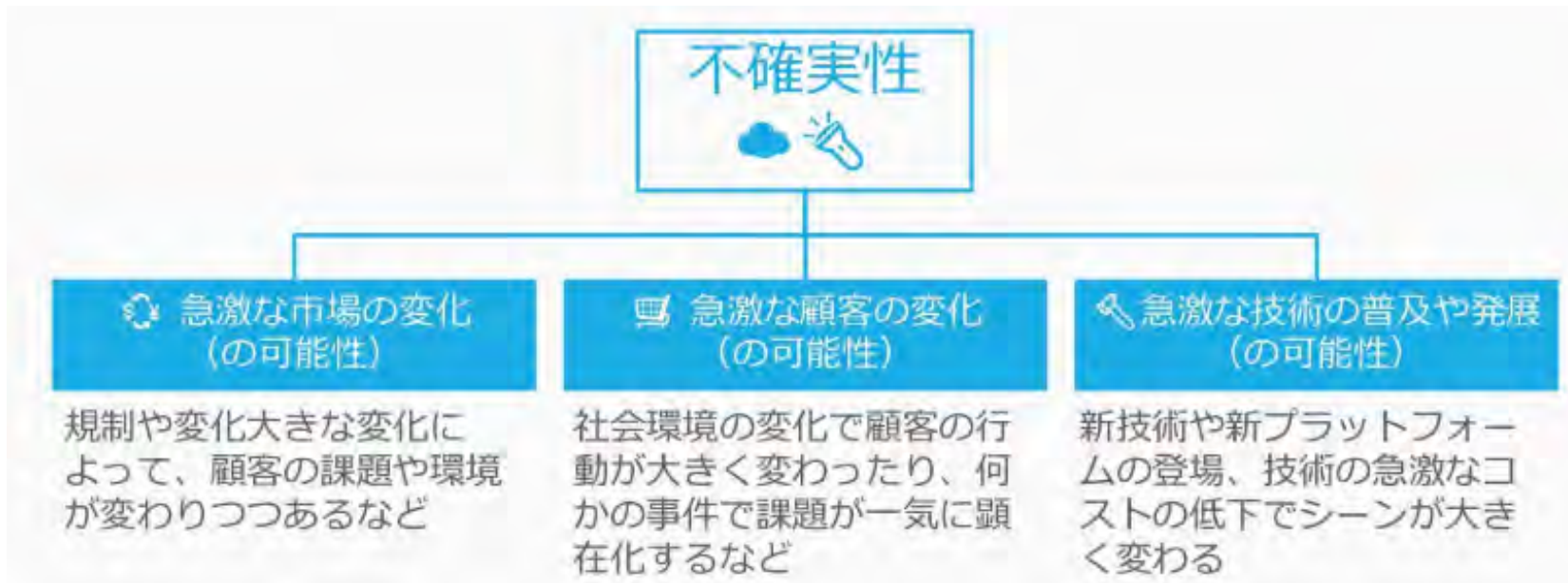
イノベーションを生み出す
「スタートアップの考え方」

1. 不確実性に賭ける
2. 素早く探索＋未来からの逆算
3. 安く、早く、賢く失敗する
4. コミュニティから学ぶ
5. 「モメンタム」を維持する

1. 不確実性に賭ける

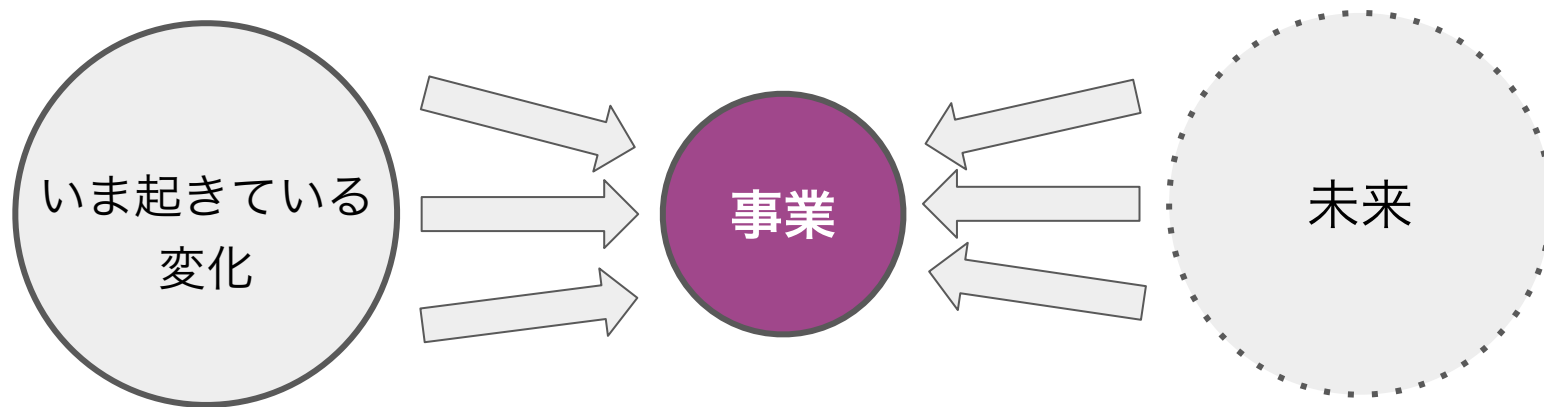
伝統企業であれば「リスクが高い」として避ける不確実性の高い領域を、
スタートアップは「機会」と捉える。

不確実性の三分類



2. 素早く探索＋未来からの逆算

機動力を活かして素早く探索するアプローチと、遠い未来から逆算するアプローチを掛け合わせることで不確実性に対処し、活かす。



3. 安く・早く・賢く失敗する



起業が失敗する理由TOP 3

1位 資金の枯渇 (38%)

2位 市場ニーズが存在しない (35%)

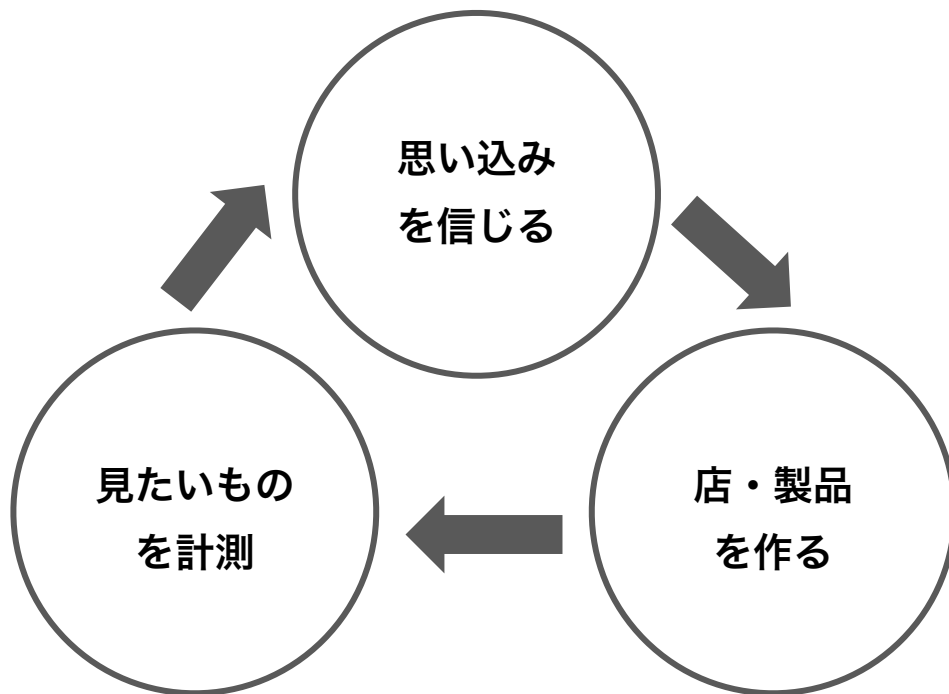
3位 競合に負ける (20%)

出典：CBINSIGHTS 「The Top 12 Reasons Startups Fail」 (2021/8/3)

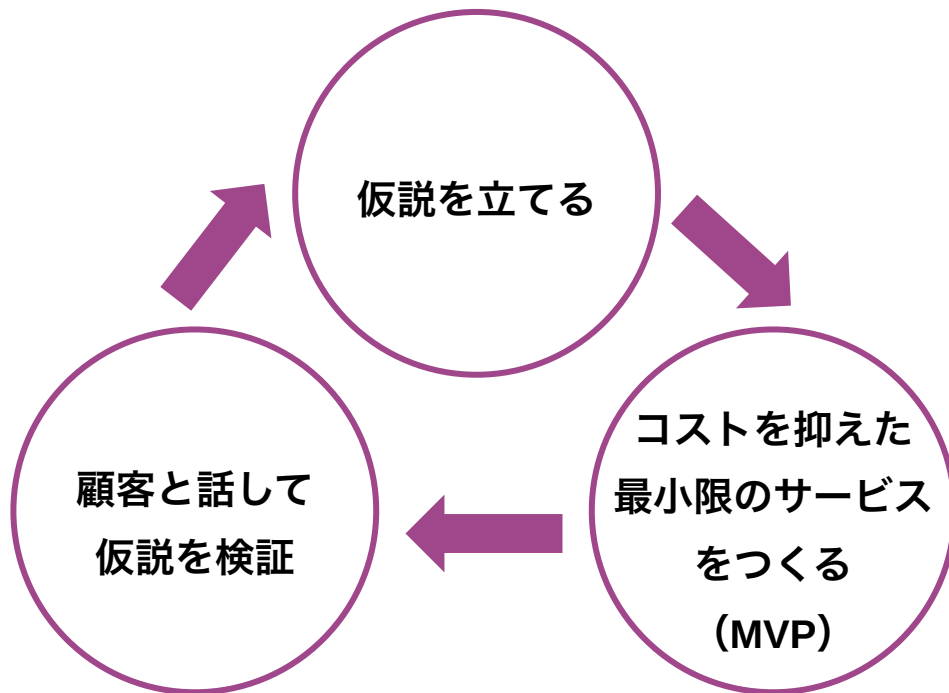
<https://www.cbinsights.com/research/report/startup-failure-reasons-top/>

3. 安く・早く・賢く失敗する

なぜ市場ニーズが存在しない商品を作ってしまうのか？



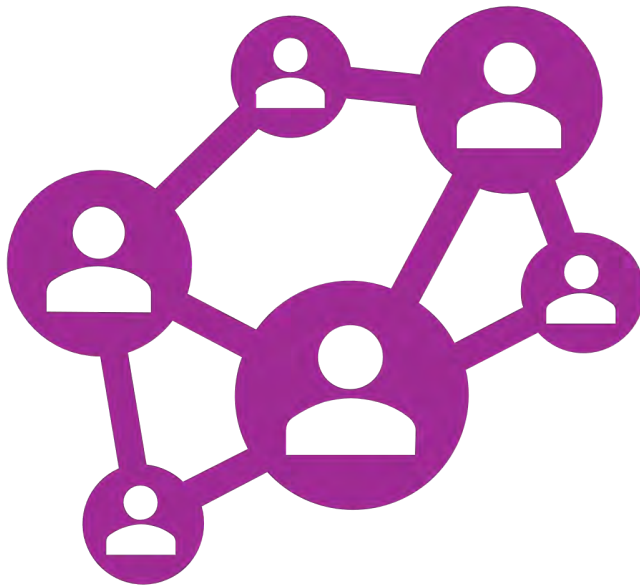
“Fail cheap, Fail fast, Fail smart”



失敗したとしても費用を抑えることができ、他のサービスへの転換もしやすい

Open × Share × Join

優れた起業家は同じコミュニティでお互いに情報交換している。



5. 「モメンタム」を維持する

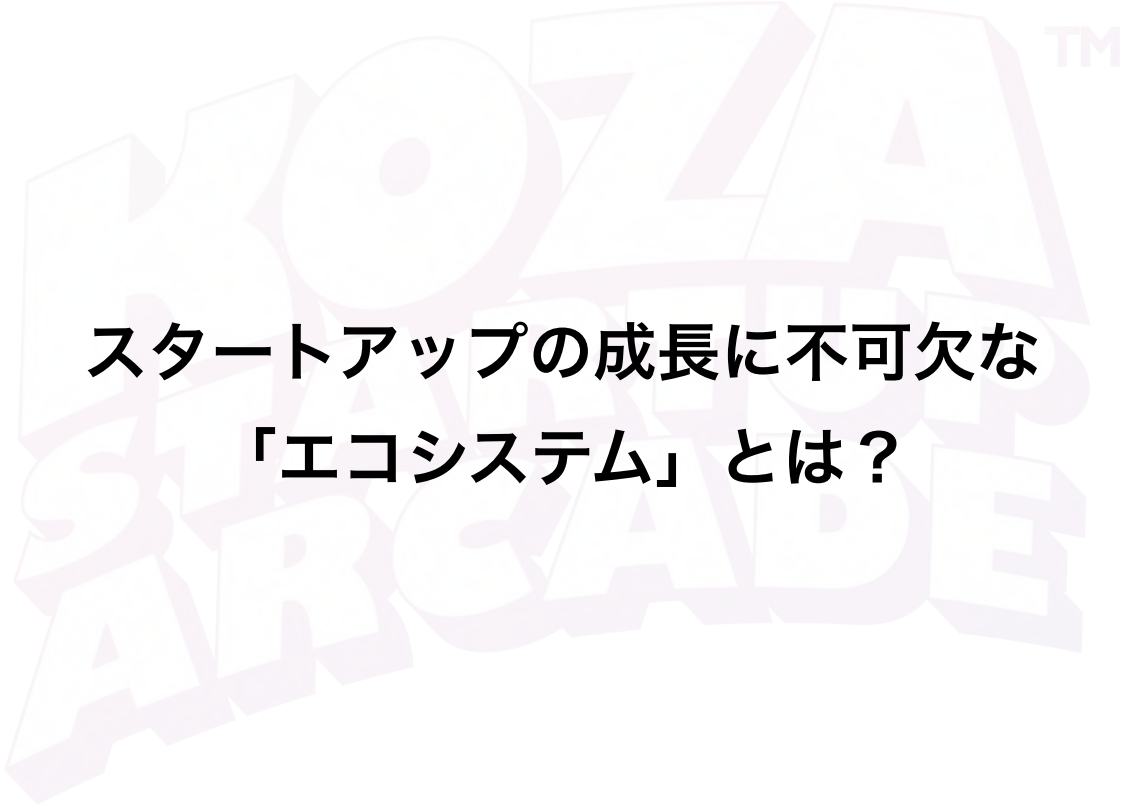
小さな勝利を
重ね続ける

モメンタム＝勢いが
生まれる

- プロジェクトの単位を小さく分ける
- 小さな勝利でも大々的に祝う
- リーダーが勝利を勝ち取る背中を見せる

- 士気が高まる
- 有能な人材が集まってくる
- 投資家が集まってくる
- 問題があっても後回しにできる

さらに
成果が出る

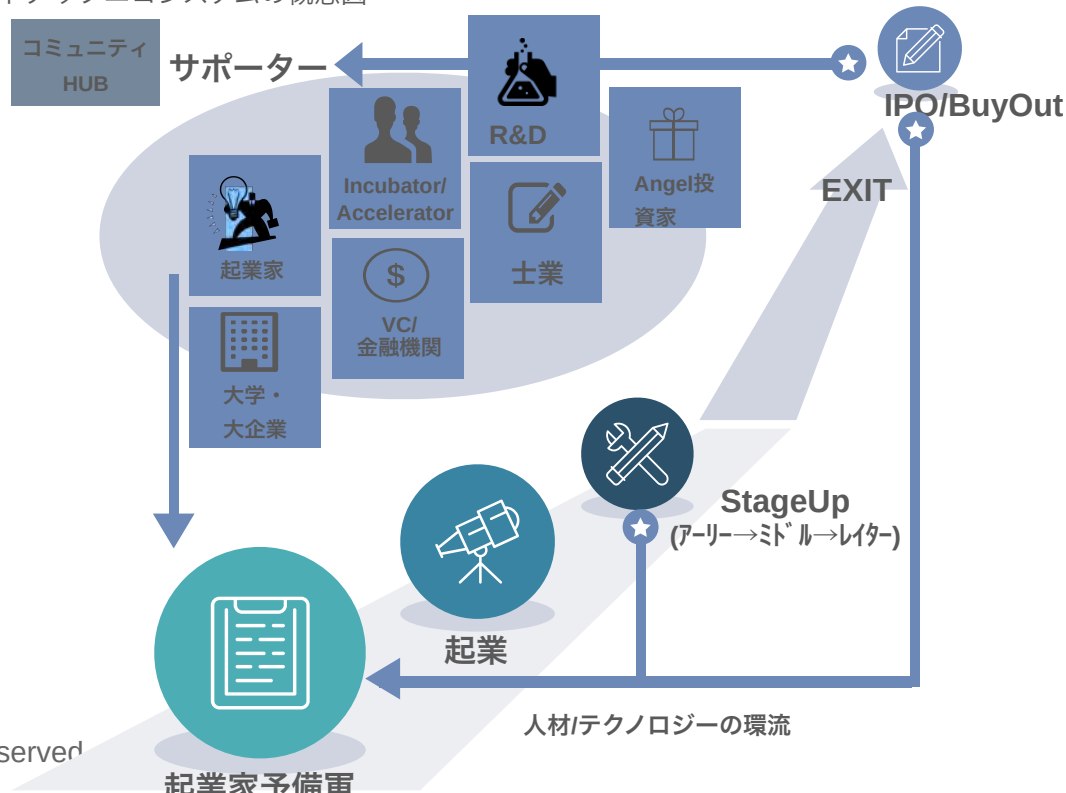


スタートアップの成長に不可欠な
「エコシステム」とは？

スタートアップ・エコシステムとは

スタートアップや、既存の事業者、大学、研究機関、行政、公的機関、金融機関など、スタートアップのライフサイクルに関わるステークホルダーが有機的なネットワークをつくり機能することで、スタートアップが自律的・連続的に輩出され、短期間で成長する仕組（環境）のことです。自然が循環していく生態系に似ていることから、「スタートアップ・エコシステム」と呼ばれています。

スタートアップエコシステムの概念図



沖縄県内のスタートアップ支援の現状

●Okinawa Startup Program（主催企業：琉球銀行ほか7社）

●X-Tech Innovation（沖縄銀行、他本土系金融機関）

●KOZAROCKS（コザスタートアップ商店街）

●Ryukyufrogs（フログス）

●Leapday（フログス）

●沖縄イノベーションベース（さくらインターネット他）

●Startup Weekend Okinawa（起業体験イベント）

●沖縄スタートアップ支援協会

●nagonova（コミュニティスペース、シェアオフィス）

●ベンチャー起業入門講座（琉球大学）

●STARTUP LAB RYUDAI（琉ラボ）（琉球大学）

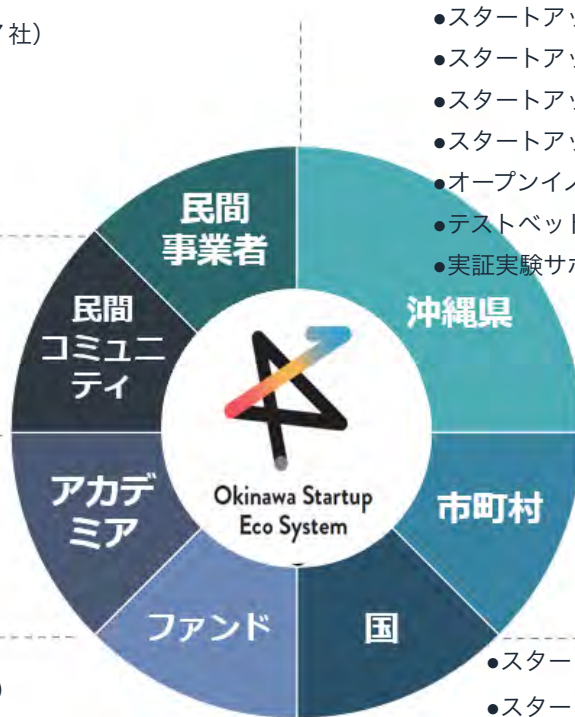
●OIST Innovation（沖縄科学技術大学院大学）

●BORベンチャーファンド（琉球銀行、琉球キャピタル）

●キャリアインパクト&イノベーションファンド（うむさんラボ）

●イノベーション創出ファンド（沖縄科学技術振興センター、KSP他）

●津梁ファンド（フォーシーズ）



●スタートアップ・エコシステム構築支援事業（産業政策課）

●スタートアップ創業支援事業（産業政策課）

●スタートアップ資金調達支援事業（産業政策課）

●スタートアップアクセラレーション事業（産業政策課）

●オープンイノベーション創出支援事業（ITイノベーション推進課）

●テストベット実証支援事業（ITイノベーション推進課）

●実証実験サポート事業（企業立地推進課）

●スタートアップ海外進出支援事業（産業政策課）

●外国人起業家・海外スタートアップのビジネスサポート事業（スタートアップビザ）

●スタートアップ加速化支援事業

●Startup Lab Lagoon KOZA（沖縄市）

●「スマートシティ名護モデル」実装事業（名護市）

●なはし社会地域課題解決型起業支援事業（那覇市）

●スタートアップ支援に係る目利き力向上事業（内閣府）

●スタートアップ集積拠点支援事業（内閣府）

●コミュニティマネジャー育成事業（内閣府）

●研究開発型スタートアップ支援事業（内閣府）

●地域課題解決型スタートアップ支援事業（内閣府）

●J-Startup沖縄

行政の支援に加えて、金融機関を中心とした民間による支援が立ち上がるなど、スタートアップ支援の気運も高まっていた。また、コワーキングスペース等においてイベントや交流会が行われスタートアップ・コミュニティが形成されつつあった。一方で、支援者間の連携ができておらず、エコシステムの構築には至らない状況。

世界で存在感を示せるアジア有数のスタートアップ・エコシステムの構築を目的とし、企業・金融機関・研究機関・大学・行政等の関係機関が一体となり、令和4年12月に「おきなわスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム」を設立。





全国的・世界的にも注目されるスタートアップが誕生



EF Polymer 株式会社

- KOZAROCKSピッチイベント優勝
- ASCENSION2023「Asia Next Unicorn Award」受賞
- ICCサミット KYOTO - Real Tech Catapult グランプリ
- J-startup Okinawa2024
- World Living Soils Forum - 優勝
- 2024 Indo Pacific Climate Tech 100
- Forbes Asia 100 To Watch

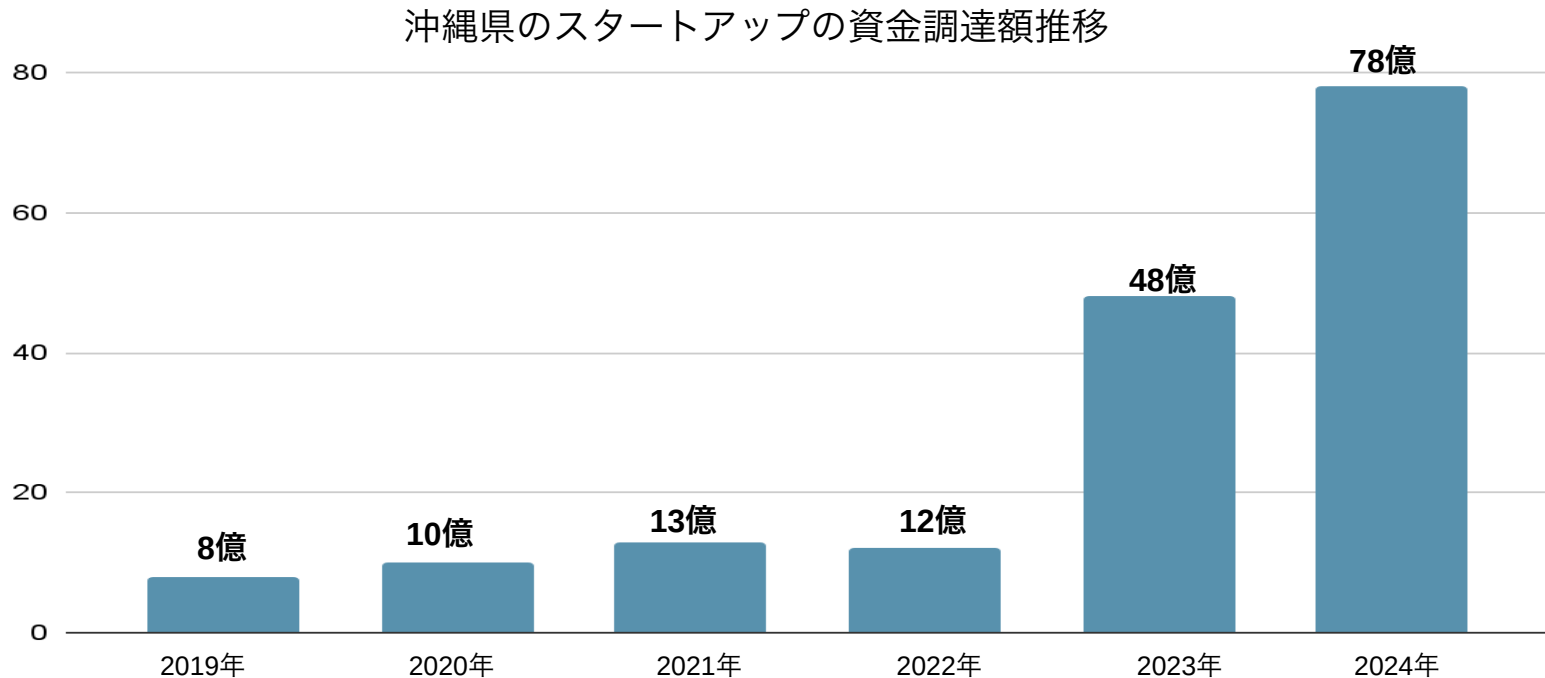


HelloWorld株式会社

- ICCサミット2023「ソーシャルグッド・カタパルト」優勝
- 経済界 Golden Pitch 2023グランプリ
- Global EdTech Startup Awards 2023ファイナリスト

沖縄スタートアップの資金調達額も増加傾向

沖縄県で生まれたスタートアップの資金調達額は2019年から堅調に増加。2023年、2024年には大型の資金調達も続いた。



出典：INITIAL, 「2024年 Japan Startup Finance - 国内スタートアップ資金調達動向決定版 -」を元に弊社作成

地域別の資金調達額

地域別の資金調達額で沖縄県が着実に伸びており全国Top10入り

		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
1	東京都	1171	1478	2125	2886	4031	5047	4646	7356	7841	6499	6015
2	神奈川県	46	52	90	186	147	191	106	190	270	182	291
3	京都府	27	83	53	101	99	98	108	167	275	178	258
4	愛知県	8	15	34	82	80	177	107	51	195	105	192
5	大阪府	60	90	79	102	151	128	119	155	205	246	137
6	福岡県	14	43	48	136	136	90	114	180	368	165	112
7	山形県	36	130	4	21	64	75	78	153	116	48	87
8	北海道	5	14	25	18	33	59	26	69	65	56	86
9	沖縄県	3	4	6	15	18	22	10	64	19	48	78
10	兵庫県	15	14	13	25	25	52	38	73	50	92	73
	埼玉県	5	6	8	23	10	17	16	25	42	124	72
	宮城県	9	28	18	22	31	26	25	18	20	58	46
	千葉県	1	3	5	6	31	21	13	38	34	59	44
	茨城県	1	5	12	17	22	23	26	31	39	24	38
	静岡県	2	3	4	6	13	18	25	17	55	23	32
	新潟県	12	30	30	27	26	4	5	5	8	8	31
	長野県	1	0	0	1	1	4	7	7	6	10	20
	広島県	5	8	11	17	15	29	25	34	17	20	19
	熊本県	10	3	7	9	12	26	22	39	75	26	16
	石川県	-	1	0	1	1	0	3	24	48	4	16



ALPACA.LAB

<https://alpacalab.jp/>

株式会社Alpaca.Lab

課題先進島の沖縄から課題解決のスタンダードを。「産学連携」をキーワードに、テクノロジーと人との繋がりで課題解決の手段を模索し、課題解決の輪を沖縄から全国へと広がっていきます。

〇運転代行配車アプリ「AIRCLE（エアクル）」

アプリから駐車場所を指定するだけで近くにいる運転代行とマッチング。保険などの審査基準をクリアした登録業者のため安心して利用でき、到着までの時間や料金の目安も事前に確認できます。

近くの運転代行がすぐ来る！



【投資家も関心】法律の穴をつく運転代行サービスでワーバーやディティに勝てるか？【メイクマネーサバイブ】

エアクルのここが便利

何度か業者に電話する必要なし

事前に料金の目安がわかる

到着までの時間がわかる



<https://ja.efpolymer.com/>

EFPolymer株式会社

「生ゴミを活用し、新興国でも利用しやすい低コストの持続可能な農業資材で、水問題を含む地球環境問題を解決する」ことをミッションにしています。

OEFPポリマー

ジューススタンドなどから出る材料の絞りかすなどの生ゴミから作られた有機高吸水性ポリマーです。土壌や作物に影響を与えることなく、灌漑用水や肥料の必要量を減らし、より多くの収穫を得るために役立ちます。



水不足に悩む家族や世界中の生産者を助けたい

創業者のナラヤン・ガルジャールは、インド・ラージャスターン州の人口約300人という小さな農村に生まれ育ちました。乾燥地域にある村の土壌は決して作物が育ちやすい環境ではなく、農業を営む両親のもとで幼い頃からその苦勞を目の当たりにしてきました。
「いつか水不足に悩む両親や村の仲間を助けたい」そんな創業者の想いから、100%オーガニックの超吸水性ポリマー「EFポリマー」が生まれました。

Ecosystem

EFポリマーのエコシステム

従来、捨てられてきた作物の残渣を原料に、生産者の課題解決を実現する循環型のモデル

EFポリマーは果物の皮や搾りかすなど、従来廃棄されてきた作物残渣から生まれた100%オーガニックの超吸水性ポリマーです。農地に適用することで水不足などの厳しい環境下でも生産コストを抑えながら収穫量の向上につながります。また、この農地で育てられた作物の残渣をアップサイクルすることで、新たなEFポリマーの製造に役立てることができます。



Product
製品情報



<https://inc.hello-world.city/>

HelloWorld株式会社

世界中に1ヶ国ずつ友達がいることを当たり前に。世界中の人たちが平和的に繋がる、多文化共生社会の実現に向けた社会インフラを目指します。

○「HelloWorld! (ハローワールド)」

まちなか留学をコンセプトに、地域に住む外国人宅でできるホームステイの機会を提供。週末にできる新しい留学のカたちです。

まちなか留学 HELLO WORLD! とは？

留学や世界一周に行きたいと思いつつも、お金や時間がなくて諦めていませんか？
「まちなか留学」は東京と沖縄に住む外国人のお家でホームステイの機会を提供しています。



世界中の人との出会い！

沖縄には120ヶ国、約7万人、東京には約180ヶ国、約55万人が住んでるなんて、ワクワクしませんか？ 今月はこの国♪来月はあの国♪週末にできる新しい留学のカたちです。



体験重視で使える英語を！

ホストファミリーと「英語で何かをやってみる!」ことを通じて、児童生徒の英語への関心を高めます。英語嫌いの子供が英語好きに!



チャレンジ精神を育む！

英語ができなくても大丈夫!身振り手振りでホストファミリーとお話してみよう。心が通えば、言葉はあとから付いて来ます。

日本HIPHOP界のクイーン Awich との共同プロジェクト始動

📅 2024年4月19日 📅 2024年4月22日



<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000041.000068077.html>



<https://payke.co.jp/>

株式会社Payke

「世界の消費高をあげる」をミッションに、訪日外国人の利便性を高めるとともに、企業にとって有益なソリューションを提供し、国内外でのインバウンドビジネスの発展に貢献。

〇訪日外国人向けショッピングサポートアプリ「Payke（ペイク）」

「Payke」は、商品バーコードをスマートフォンでスキャンするだけで、商品情報を多言語で表示することが可能なサービス。店頭接客を多言語化する店舗向け端末「Paykeタブレット」を国内の大手ドラッグチェーンや大手ディスカウントストアなどで展開。

「バーコード」を読み取るだけで、
商品情報を母国語で表示。



パッケージには収まらない
訴求情報や口コミ、動画
も多言語化



繁体字・簡体字・韓国語・タイ語・
ベトナム語・英語・日本語の
7ヶ国語に対応



ユーザー向けにGMVを生み出すスキャン以外の機能を順次追加

日本でのショッピングを最大限に楽しめる
お得で便利なショッピングアプリ



これからのPaykeアプリ





<https://h.lilz.jp/>

LiLz株式会社

機械学習とIoTの技術融合で、現場の仕事をラクにする。設備保全、建設、農業、漁業など、私たちの社会活動を支える世界中の様々な現場の課題解決に貢献します。

○遠隔点検IoT・AIサービス「LiLz Gauge（リルズゲージ）」

低消費電力IoTカメラと機械学習を活用し、アナログメーターなどの目視巡回点検を電源・ネットワーク工事不要で簡単にリモート化できるクラウドサービス。遠距離や危険場所などの点検作業を効率化できます。

目視点検を遠隔で実現！

アナログメーターを AIが自動で読み取り

LiLz Gaugeは電源不要・ネット環境不要で目視点検を簡単にリモート化できるクラウドサービスです。

今すぐ資料ダウンロード



LiLz Gauge導入後の点検イメージ



遠隔地の
アナログメーター



専用カメラが
毎日撮影



オンラインで
数値確認

これまでは離れた現場のアナログメーターを確認するには、人がその現場に直行って確認をする必要がありました。この離れた現場のメーター確認をLiLz Gaugeは低消費電力IoTカメラと機械学習を活用し簡単にリモート化します。

沖縄県のスタートアップ

株式会社URAKATA



<https://urakata.okinawa/>

自分のやりたいことを探求しよう。社会にどう影響するのか行動してみよう。関わる全ての人が、今より成長できる環境を創る。共創する文化を得意とし、一緒に挑戦することを楽しむ会社です。

〇キャンプ用品シェアリングサービス「ソトリスト」

ご自宅や倉庫に眠っているキャンプ用品を無料でお預かりし格安でレンタルするシェアリングサービス。使用していないキャンプ用品の有効活用と、より手軽にキャンプを体験できる機会を作ります。

人生を、まだまだ楽しくする。



選ばれる理由 ソトリストの使い方 レンタル会員登録 ログイン

レンタルアイテム
2,000点以上

コールマンやスノーピークなど国内外のメーカー品、ソロ用テントからファミリーテントまで国内最大級の品そろえてキャンプに必要なアイテムがすべてレンタル可能なサービスです。



自宅で眠っているキャンプ用品を
預けておこづかいを稼ごう！

キャンプ用品出品はこちら

ソトリストが選ばれる理由

01 前日のお昼12時まで
予約ができる

店舗受取は、ご利用日の前日お昼12時まで予約することができます。



02 清掃不要で
そのまま返却OK

キャンプを楽しんだ後の清掃は、すべてソトリストにお任せください。



03 安心のレンタル
補償付き

万一が—レンタル品を破損した場合でも補償サービスがあるので安心です。



沖縄県のスタートアップ



<https://think-nature.jp/>



シンク・ネイチャー&琉球大・久保田研究室
@bio_cb_jp・フォローする

福岡で開催された 九州・山口ベンチャーマーケット
kyushu-yamaguchi-vm.jp
で、#シンク・ネイチャー が「グランプリ（大賞）」
「DXベンチャー賞」「NICT賞」を受賞！3冠とったスタートアップは初とのこと



株式会社シンクネイチャー

シンク・ネイチャーは、最先端のデータ解析を通して、生物多様性・生態系サービスのサステナビリティに関するソリューションを提案する、ネイチャー・データサイエンティストの「研究者スタートアップ」です。

私たちの強みは、卓越した研究実績を持つ研究者集団と、日本最大の生物多様性ビッグデータです。科学に基づき、未来社会のネイチャートランスフォーメーションを実現します。

SERVICE

サービス

シンク・ネイチャーが提供するネイチャー関連実務

生物多様性分析レポート「TN LEAD」



琉球大学発、生物多様性分野を牽引する専門家が立ち上げたTNFD対応支援サービス

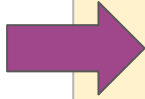
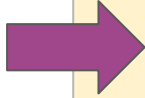
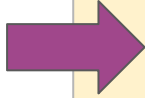
Detail >

ネイチャーポジティブ定量化「TN GAIN」



ネイチャーポジティブを定量評価。企業の生物多様性保全・再生活動をKPI化

Detail >

	2023		2027
資金調達額	39億円		100億円
評価額100億円以上の スタートアップ数	0社		10社
スタートアップ数	97社		200社

出典：おきなわスタートアップ・エコシステム発展戦略

まとめ

- スタートアップは経済成長のドライバー
- スタートアップと伝統企業の最大の違いは成長曲線
- イノベーションに取り組む際はスタートアップの考え方を取り入れる
or スタートアップと共働することでリスクを抑えて成長を目指す
- スタートアップの成長には「エコシステム」の成長も欠かせない
- 地域に根差したファンドがスタートアップの成長を県内に循環させる
ことにより、県経済が持続的に発展
- 未来の沖縄を支える会社と産業を共につくりましょう！

参考資料2
おきなわスタートアップエコシステム

おきなわ
スタートアップエコシステム



『おきなわスタートアップ・エコシステム』のこれまで

年度	主なトピック	概要	段階
2008年	琉球frogsスタート！	学生対象のアントレプレナーシップ人材育成プログラム	黎明期
2012年	「Startup weekend」スタート！	スタートアップに特化したイベントの開催。コミュニティ発足	
2016年	「Startup Café KOZA」設立	商店街に設立したイノベーション創出拠点	
2017年	「Okinawa Startup Program」スタート！	琉球銀行他県内7社が参画するアクセラレーションプログラム	胎動期
2018年	沖縄ITイノベーション戦略センター（ISCO）設立	官民で設立した財団法人。DX促進をメインにスタートアップ支援も事業領域	
2019年	「Startup Lab Lagoon KOZA」開設	Startup Café KOZAから運営組織の変更	成長期
	「Okinawa Startup Festa」開催（R元年～5年）	沖縄県主催のスタートアップイベント	
	OIST innovation（沖縄科学技術大学院大学）スタート！	スタートアップや技術商業化を支援するための主要プログラム	
2021年	スタートアップ・エコシステム構築支援事業	沖縄県内におけるスタートアップエコシステムづくりに着手	拡大期
2022年	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画（沖縄振興計画）	県の施策としてスタートアップ促進が位置付けられる	
	「おきなわスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム」設立	産官学金45の組織でスタート。会長は沖縄県知事	
	「KOZAROKCS」スタート！	コザスタートアップ商店街（KSA/Lagoon koza）主催のスタートアップイベント。毎年開催	
	「Startup Lab Lagoon Naha」開設	沖縄県が運営するスタートアップ支援施設。（SAKURA innobas内）	
2023年	「カーリーインパクトファンド」設立	沖縄県内の社会課題を解決を目指すインパクト投資ファンド	発展期
	「おきなわスタートアップ・エコシステム発展戦略」策定	スタートアップの定義、県内の各機関の取り組みの可視化、2028年までの目標設定など	
	「STARTUP LAB RYUDAI（琉ラボ）」開設	琉球大学内にスタートアップ支援の拠点が開設	
2024年	「J-Startup沖縄」発足（事務局：沖縄総合事務局・沖縄県）	認定スタートアップを集中的に支援する仕組み	
	「琉球スタートアップランウェイ」設立	県内各金融機関が参画したスタートアップの資金調達の問い合わせ窓口	
2025年	「沖縄イノベーションベース」設立	「EO：Entrepreneur's Organization（起業家機構）」によるアントレプレナーシップ人材の育成・支援を通じて、豊かな社会の発展に寄与することを目的に設立された団体。	

沖縄県内のスタートアップ支援の現状

●Okinawa Startup Program（主催企業：琉球銀行ほか7社）

●X-Tech Innovation（沖縄銀行、他本土系金融機関）

●KOZAROCKS（コザスタートアップ商店街）

●Ryukyufrogs（フログス）

●Leapday（フログス）

●沖縄イノベーションベース（さくらインターネット他）

●Startup Weekend Okinawa（起業体験イベント）

●沖縄スタートアップ支援協会

●nagonova（コミュニティスペース、シェアオフィス）

●ベンチャー起業入門講座（琉球大学）

●STARTUP LAB RYUDAI（琉ラボ）（琉球大学）

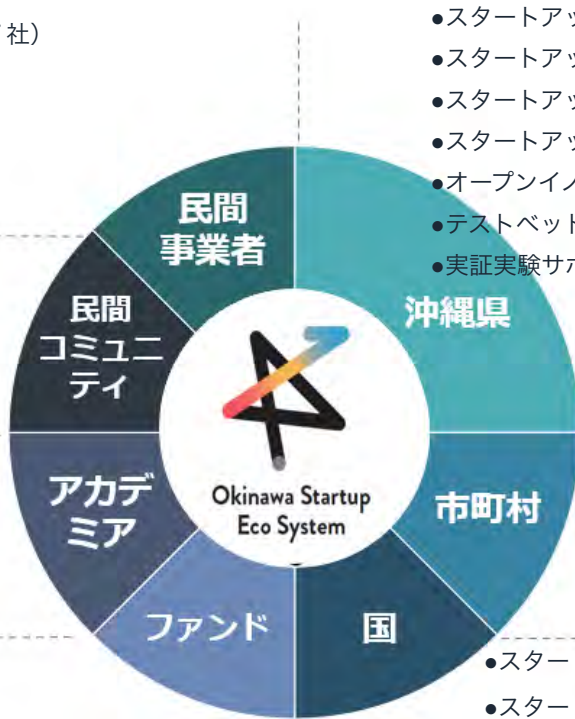
●OIST Innovation（沖縄科学技術大学院大学）

●BORベンチャーファンド（琉球銀行、琉球キャピタル）

●キャリアインパクト&イノベーションファンド（うむさんラボ）

●イノベーション創出ファンド（沖縄科学技術振興センター、KSP他）

●津梁ファンド（フォーシーズ）



●スタートアップ・エコシステム構築支援事業（産業政策課）

●スタートアップ創業支援事業（産業政策課）

●スタートアップ資金調達支援事業（産業政策課）

●スタートアップアクセラレーション事業（産業政策課）

●オープンイノベーション創出支援事業（ITイノベーション推進課）

●テストベット実証支援事業（ITイノベーション推進課）

●実証実験サポート事業（企業立地推進課）

●スタートアップ海外進出支援事業（産業政策課）

●外国人起業家・海外スタートアップのビジネスサポート事業（スタートアップビザ）

●スタートアップ加速化支援事業

●Startup Lab Lagoon KOZA（沖縄市）

●「スマートシティ名護モデル」実装事業（名護市）

●なはし社会地域課題解決型起業支援事業（那覇市）

●スタートアップ支援に係る目利き力向上事業（内閣府）

●スタートアップ集積拠点支援事業（内閣府）

●コミュニティマネジャー育成事業（内閣府）

●研究開発型スタートアップ支援事業（内閣府）

●地域課題解決型スタートアップ支援事業（内閣府）

●J-Startup沖縄

行政の支援に加えて、金融機関を中心とした民間による支援が立ち上がるなど、スタートアップ支援の気運も高まっていた。また、コワーキングスペース等においてイベントや交流会が行われスタートアップ・コミュニティが形成されつつあった。

一方で、支援者間の連携ができておらず、エコシステムの構築には至らない状況。

世界で存在感を示せるアジア有数のスタートアップ・エコシステムの構築を目的とし、企業・金融機関・研究機関・大学・行政等の関係機関が一体となり、令和4年12月に「おきなわスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム」を設立。





【加盟組織】 75団体

幹事組織 コンソーシアムの運営・活動を分担する組織

- 1 沖縄県
- 2 内閣府沖縄総合事務局
- 3 琉球大学
- 4 沖縄科学技術大学院大学
- 5 沖縄振興開発金融公庫
- 6 琉球銀行
- 7 沖縄銀行
- 8 琉球キャピタル
- 9 みらいおきなわ
- 10 うむさんラボ
- 11 FROGS
- 12 沖縄県産業振興公社
- 13 沖縄科学技術振興センター
- 14 沖縄 I T イノベーション戦略センター
- 15 中小企業基盤整備機構沖縄事務所
- 16 トーマツ

スタートアップ支援活動を行う組織

県内外事業会社 59団体

理事会

コンソーシアムの意思決定機関。
会長、副会長と幹事組織の互選による理事で構成。
会長：沖縄県知事 副会長：ISCO理事長

運営委員会

コンソーシアムの運営・活動を総括。
各幹事組織から1名、幹事組織以外の加盟組織からの若干名で構成。運営委員会に各部会を置く。

事務局

コンソーシアムの事務全般を統括。
事務局は、沖縄県商工労働部産業政策課内に置く。

人的資本部会

経済資本部会

促進環境資本部会

※ 3つの部会からスタートし、加盟組織はいずれかの部会に入ることとするが、新たな部会を立ち上げることも可能。

人的資本部会

起業家人材育成と専門職の 確保に向けた環境づくり

- ① 起業人材を安定的に輩出する仕組みづくり
- ② 研究者、経営人材、エンジニアの育成
- ③ スタートアップへ参画する人材のマッチング機能
- ④ スタートアップ支援ノウハウの向上

経済資本部会

リスクマネーの環流やオープン イノベーションの促進に向けた 環境づくり

- ① リスクマネー供給の多様化・拡充
- ② 事業会社とスタートアップとのオープンイノベーション促進
- ③ 新技術の実証試験や社会実装等の受け入れ体制（スタートアップと事業会社の連携）
- ④ 加盟組織によるスタートアップ支援

促進環境資本部会

行政・支援機関の連携促進 に向けた環境づくり

- ① 支援情報のワンストップ化・スタートアップに係る情報共有
- ② 規制改革（国家戦略特区、グレーゾーン解消制度等）の活用
- ③ 産学官金連携による支援
- ④ 新技術の実証試験や社会実装等の受け入れ体制（実証フィールドの提供）

目的 スタートアップの創出と成長を加速させる自律的なスタートアップ・エコシステムを構築する

位置付け スタートアップ支援者による取組の基本的指針

推進主体 おきなわスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム

戦略期間 令和5年度から概ね5年間
(国の動向や社会経済情勢及びテクノロジーの変化を踏まえ、適宜見直し)

目指す姿 **チャレンジ文化が根付いた地域の形成**
■挑戦者を応援する文化の醸成により、スタートアップが次々と輩出され、成長できる環境

沖縄の持続的発展に寄与するエコシステムの形成
■企業や自治体とのオープンイノベーションによる経済発展や社会課題解決の恩恵を実感できる地域

世界のエコシステムとつながり相互に発展する地域
■ヒト・モノ・資金・情報が集まり、国内外との連携を深め、世界のエコシステム発展にも貢献する地域

達成目標

スタートアップの資金調達額

14.4億円
(2022年)



100億円
(2027年)

企業評価額100億円以上のスタートアップ数

0社
(2023年)



10社
(2028年)

スタートアップ数

97社
(2023年)



200社
(2028年)

① スタートアップ数(2024年)

138 社

※2025年1月1日時点

基準値(2023年)

96 社

目標値(2028年)

200 社

達成率

40.4%

直近3年のスタートアップ数



② 企業評価額100億円の スタートアップ数(2024年)

1 社

※2025年1月1日時点

基準値(2023年)

0 社

目標値(2028年)

10 社

達成率

10.0%

1社
(2024年)



③ スタートアップの資金調達額 (2024年)

73.7 億円

※2025年1月1日時点

基準値(2022年)

14.4 億円

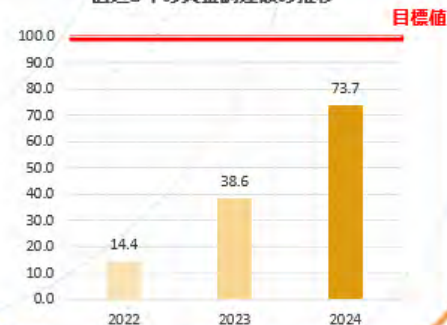
目標値(2027年)

100 億円

達成率

69.3%

直近3年の資金調達額の推移



①アントレプレナーシップ養成講座参加者数
(2023年度～2024年度の累計)

1,011 人

目標値(2027年度)

1,000 人

達成率

101.1%



【内訳】 2023年度：678人
2024年度：333人

※図は1つあたり100人を表す

②アクセラレータープログラム参加者数
(2023年度～2024年度の累計)

202 人

目標値(2027年度)

500 人

達成率

40.4%



【内訳】 2023年度：98人
2024年度：104人

※図は1つあたり50人を表す

③ビジネスコンテスト参加スタートアップ数
(2023年度～2024年度の累計)

355 社

目標値(2027年度)

500 社

達成率

71.0%



【内訳】 2023年度：198社
2024年度：157社

※図は1つあたり50社を表す

④ PoC・実証実験のサポート件数
(2023年度～2024年度の累計)

67 件
目標値(2027年度)
60 件
達成率
111.7%

PoC・実証実験サポート件数(累計)



【内訳】2023年度：21件
2024年度：46件

⑤ 県内企業等とスタートアップとの
オープンイノベーションに向けた
取組数(2023年度～2024年度の累計)

41 件
目標値(2027年度)
50 件
達成率
82.0%

オープンイノベーションに向けた取組数
(累計)



【内訳】2023年度：4件
2024年度：37件

⑥ 県外スタートアップ・コミュニティとの
連携によるマッチング件数
(2023年度～2024年度の累計)

9 件
目標値(2027年度)
50 件
達成率
18.0%

県外スタートアップ・コミュニティとの
連携によるマッチング件数(累計)



【内訳】2023年度：1件
2024年度：8件